令和7年度 笑顔と学びの体験活動プロジェクト

笑顔と学びの体験活動プロジェクト

子供企画型 レポート

テーマ **地域と共に歩む本町小学校**

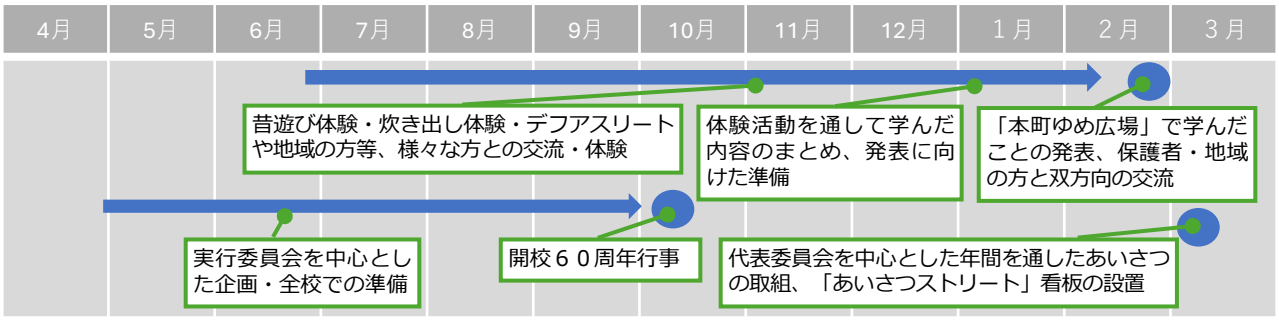
小金井市立本町小学校

教育計画上のねらい

1　探究的な見方・考え方を働かせ、自分の生活や身近な地域における横断的・総合的な学習を行うことを通して、自他の思いを尊重しながら課題を解決するとともに、自己の生き方を考えることができるようにする。

2　開校６０周年という節目に、地域とのつながりを強く感じながら、児童が楽しく主体的に活動する機会を通して、学校・地域への愛着を深める。

児童・生徒の企画内容 年間スケジュール



児童・生徒の声

企画に関わった児童・生徒

「自分たちで企画して準備したことで全校が一つになる雰囲気を体験できて、達成感が大きかった。」（周年実行委員）・「地域のよさについてみんなで話し合い、地域を巻き込む企画を考えられてよかった。」（６年）・「実現できて本当に達成感がある。」（代表委員）

参加した児童・生徒

「たくさん楽しい企画があって、みんなでお祝いできて楽しかった。」「さらに学校が好きになった。」「プロの技はすごいなと思った。」「実際に体験できたから考えを深めることができた。」「本町小のあいさつはやっぱりすごいなと思った。」

取組・実践

自分事として祝う 開校６０周年への取組

周年記念式典では、６年生がグループごとに調べた学校の歴史を来賓の方々に説明する時間を設け、自分たちの学校に愛着をもち、発表する姿をたくさんほめていただきました。

企画運営から児童主体で実施した記念集会では、学年やクラスごとに「６０」にちなんだ発表をする企画や、巨大なお祝いケーキを組み立てるゲームもあり、お祝いムードが最高潮になる本校らしい集会になりました。

主体的な学びの集大成 「本町ゆめ広場」

デフアスリート、特別支援学校との交流から「やさしいまち」について考えてきた４年生。旅する料理人と共に水や食材の確保から体験した炊き出しを通して、自分たちにできることを考え続けた５年生。地域を巻き込んで盛大に行われた児童企画の「スポごみ」など、地域のためにできることを考え続けた６年生。「本町ゆめ広場」は、児童の主体的な活動を重視して進めてきた学習の成果を、保護者・地域の方と双方向の交流を通して学ぶ文化的行事です。

命名「あいさつストリート」

代表委員会を中心に。学校として１往復半の挨拶に取り組んできました。朝の登校時に地域の方から名前を呼んでほめていただいた児童の数が、今年度だけで２月には延べ１万人を突破しました。この取組が本校の伝統・誇りとなるようにと代表委員会発案で、正門前の通りを「あいさつストリート」と名付けました。地域の方、警察、市役所へのお願いや看板デザインも児童が関わり、通りにある電柱に「あいさつストリート」の看板を設置しました。

成果

- 体験学習や本物に触れる活動を進める中で、児童の新たな「問い」が生まれ、探究的な学習に主体的に取り組もうとする態度が培われた。
- つながりを感じることで、学校と地域を大切に思う気持ちを高めることができた。
- 企画が実現していく体験を通して、「提案する楽しさ」を十分に感じたことで、様々なことに対しても主体的にチャレンジする雰囲気が広がってきた。